



赤阪小学校 10月号 平成26年10月1日

あかさか

青空のもと、一人ひとりが輝いた運動会

今年の運動会は、気持ちのよい青空のもとで実施することができました

児童たちは9月に入ってから暑さや雨に悩まされながら、「やってやれないことはない。やった分だけ力になる。」を目標にして練習に取り組んできました。当日一生懸命演技・競技する児童



たちに感激しました。

また、開会式では村立中学校吹奏楽部のみなさん・OBの方々が駆けつけてくださり生演奏の中入場行進をしました。演技では、

1・2年生の「あいうえウオッチ！！」一つ一つの仕草がとってもかわいらしかったです。

両手に持ったポンポンが子どもたちの笑顔を一層輝かせていました。最後の自分たちで考えたポーズ、きまっていたかっこよかったです。

また、児童たちのダンスを見てらっしゃるご家族や地域の方々の笑顔も印象的でした。

3・4年生の「ミルクムナリ」かわいくかっこよく踊っていました。赤いサージが良く似合っていました。練習を始めたころはバラバラだった太鼓の音や掛け声が、当日はみんなの息がぴったりと合っていて、とても心地よく響いていました。



5・6年の「組み立て体操・ヒカレ！48人のオモイダマ！！」と南中ソーラン しっかり運動会を締めくくってくれました。痛くても、つらくても最後まで歯を食いしばって全力でやりぬこうとする姿がそこにありました。今年は、音楽に合わせて動きのある組み立て体操になっていて、美しく、力強かったです。南中ソーランでは鳴子の音が会場を包み、本気・信頼・思いやりの中で

すばらしい演技をしてくれました。

応援合戦では、各団長さんや高学年が先頭に立って、休憩時間も惜しまず話し合いや練習を重ねていました。ダンス、歌も工夫されていてとても良かったです。

子どもたちは、全力を出し切って思い出に残る感動の運動会を作り上げてくれました。小学校最後の運動会を終えた6年生は演技・競技はもとより係、応援団などに頑張り、リーダーとして一段と成長したように感じます。

前日の準備では、PTAの役員・実行委員・地区委員・OBの皆様が集まってくださり、万全に準備をして下さいました。ありがとうございました。

また、後片付けにも多数の方々にご協力いただきました。厚くお礼申し上げます。



日	曜	10月の行事
1	水	委員会(6限) PTA実行委員会(午後7:30)
2	木	
3	金	運動会の代休
4	土	村立中学校運動会
5	日	こごせ幼稚園運動会(B&G体育館)
6	月	車いすバスケット交流(5年)
7	火	音楽朝会
8	水	研究会のため午前中授業 集団下校 1:30
9	木	
10	金	1・2年遠足(天王寺動物園)
11	土	
12	日	
13	月	体育の日
14	火	児童朝会 4年給食指導 4年砂防教室
15	水	学校安全の日 クラブ 短縮 尿検査
16	木	3・4年遠足(大阪城)
17	金	わんぱくタイム
18	土	村秋祭り
19	日	村秋祭り
20	月	修学旅行前健診
21	火	音楽朝会 4年発表 学習参観・懇談会(5・6限) 修学旅行説明会(6年)
22	水	地区研究会のため午前中授業 集団下校 1:30
23	木	
24	金	村芸術観賞会 弁当給食
25	土	村ふれあい展(26日まで)
26	日	村ふれあいコンサート
27	月	
28	火	児童朝会
29	水	短縮5限 集団下校 2:30
30	木	6年 修学旅行【姫路・岡山方面】
31	金	6年 修学旅行【姫路・岡山方面】

《11月の主な予定》

6日 就学時検診

10日 6年 中学校体験入学

11日 長野高校留学生との交流会

16日 日曜参観(赤阪フェスタ)(17日代休)

18・19日 中学2年生 福祉労働体験

全国学力状況調査の結果を踏まえて

新聞報道等でもご存じのように、8月末に全国学力状況調査の結果が公表されました。本校では結果を分析し課題解決に向けて各学年できめ細かな指導、繰り返し学習の徹底などに取り組んでまいります。また、ご家庭におかれましては基本的な生活習慣の定着(早寝・早起き・朝ごはん等)にご協力をお願いしたいところです。

詳しい内容につきましては裏面に示しております。またホームページにも掲載いたしますので是非ご覧ください。

秋の深まりを感じます

朝晩はめっきり涼しくなってきました。さわやかな気候の中、子ども達は運動会に全力を出し切り、成功させることができました。

しかし、寒暖の変化の大きい今日この頃です。体調には十分注意し、1日の疲れを残さず、元気に登校してほしいと思います。

修学旅行(姫路・岡山方面)

6年生は30・31日と修学旅行に出かけます。運動会でも学校のリーダーとしてがんばってくれた6年生。旅行先でも赤阪小学校の代表として、立派な行動を取ってほしいと思います。怪我なく、たくさんの思い出、お土産話を持って帰ってきてください。

10月8・22日【水】は、教職員が研究会参加のため午前中授業です。そして1時30分集団下校になります。ご注意ください。

平成26年10月1日

保護者の皆様

平成26年度「全国学力・学習状況調査」の結果について

千早赤阪村立赤阪小学校
校長 橋本 雅延

今年の4月22日に実施しました標記の調査(6年生対象)の結果から見てきた本校6年生の実態と今後の課題と改善点について、学校として行った分析と考察をお知らせします。

調査結果について

調査の結果は、正答率という形で百分率で表されます。今回の調査では国語 A・国語 B・算数 A・算数 B 全ての調査で全国・大阪府平均を下回りました。しかし、6年生の在籍児童は26人で、1人の正答率が約4%と大きく、1人の結果が、全体の数字に与える影響が大きすぎるので、正答率の単純な比較は統計的にはあまり意味がありません。ですから学校としては、一人ひとりの結果について細かく分析し、一人ひとりの課題を明確にして今後の指導に取り組んでまいります。が、紙面に個人別の課題を掲載することができませんので全国や大阪府の平均正答率とも比較も参考にしながら概略を報告させていただきます。

また、本調査により測定できるのは、学力の一部で(数値化できるもの)に限られ、学校における様々な教育活動の一側面に過ぎないことをご理解ください。

国語科の調査より

A調査(主として知識)について

漢字学習に関わる問題では、漢字が得意な児童と、苦手な児童がはっきりしていて、全問正解する児童も多い中、正答率が半分以下の児童も複数いますので、漢字プリントを繰り返すなどの学習活動を充実させていきます。また漢字などに苦手意識をもつ児童には、個別の指導を充実してまいります。

「情景描写の効果をとらえる」「新聞の投書を読み、表現の仕方をとらえる」「物語の登場人物の相互関係をとらえる」などの設問の『書く』『読む』能力は、平均的な結果でしたが、「話し合いの観点に基づいて情報を関係づける」設問の『話す・聞く』能力に課題が見られました。

B調査(活用力)について

設問別正答率の傾向としては、概ね大阪府の平均と同じ傾向を示していますが、「二つの詩を比べて読み、表現の工夫をとらえる」「二つの詩を比べて読み、自分の考えを書く」という設問の『読む』能力に課題が見られました。中でも記述式の問題で、半数以上の児童が無回答な設問があり、わからないとあきらめてしまう傾向があることがわかりました。

以上の結果から、国語科においては、繰り返しプリント学習などで漢字などの基礎的な学力の定着を進めてまいります。また、言語活動の充実に焦点を当てた授業づくり、『話す』『書く』能力の育成に重点を置いた指導の工夫を進めてまいります。

また、通級指導教室の充実や指導形態の工夫について、より充実してまいります。

算数科の調査より

A調査(主として知識)について

全設問17問の正答数の分布をみると、正答率の特に低い児童への取り組みが必要であり、習熟度別指導の徹底や教材の工夫など、個別支援の方法についてより一層指導の充実を図ります。

四則計算など数量についての『技能』はほぼ身につけています。また、「単位量当たりの大きさ」や「分数」、「数量」の関係などの『知識・理解』もほぼできています。

課題が見られたのは、「割合」を求める問題と「円周」を求める問題、また、「二つの数量関係を記号で式に表す」設問でした。

B調査（主として活用）について

計算方法の記述やグラフから読み取った内容を記述する設問については概ねできていますが、「相対的な量」「数量関係」について、記述式で理由を書くという設問に課題が見られました。『自分なりの考えをもち、伝えることができる能力』の育成に重点を置いた指導の充実をしてまいります。

以上の結果から、算数科においては、これまで同様、活用力向上に向けた指導法の工夫改善を継続すると共に、基礎的基本的な指導の充実と言語活動の充実に焦点を当てた授業改善を進めます。また、繰り返しプリント学習をすることで、基礎的な学力の定着に努めます。また、正答率の特に低い児童に対する個別支援のあり方を、より極め細やかなものに改善してまいります。

学習状況アンケート調査より

児童質問紙によるアンケート調査から見えてきたことをいくつか分析し考察します。

「きまりを守っているか」「友達との約束を守っているか」「人の気持ちがわかる人になりたいか」という質問では、全員が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と答えていて、規範意識がきわめて高いことがわかります。

「朝食を毎日食べていますか」という質問では、「している」答えた子の割合が全国平均より低く、「どちらかと言えばしている」「あまりしていない」を含めると約3割がこちらに回答しています。

また、「毎日同じくらいの時刻に起きていますか」という質問は全国平均並ですが、「毎日同じ時刻に寝ていますか」という質問にあまりしていないと答えた子が約3割でした。遅くまで起きていて、朝食を食べないまま登校する日がある児童がいることがわかります。

そして、「1日あたり3時間以上ゲームをする」割合が3割以上「1時間以上2時間未満まで」を含めると7割以上の児童が当てはまり、全国平均を大きく上回っています。そして「1日当たり学校以外でどれくらいの時間勉強しますか」という質問には「30分～1時間」「30分より少ない」という児童が全国平均を上回っています。

数字の上からは、毎日朝食を食べ、規則正しい生活をしている児童も多くいる反面、遅くまでゲームをして、学習時間や規則正しい生活に影響している児童が見えてきます。

また、「自分で計画を立てて、宿題はもちろん予習や復習もどちらかと言えばしている」と回答する児童の割合でも半数がしていないと回答しています。

大阪府では「早寝、早起き、朝ごはん」を推奨した運動を展開しています。ゲームの時間を減らして家庭での学習時間を確保し、規則正しい生活を確立する必要のある児童がいると思います。それぞれのご家庭では、テレビを観る時間やゲームをする時間について約束を決める、夜更かしをしないように見守る、朝ごはんをきちんと食べるようにしてもらうなど、規則正しい生活リズムが定着できるようにご協力をお願いします。

本校ではこの分析結果を、学校での指導法の工夫や家庭での学習に対する助言、指導に生かしていきたいと思えます。

加えて今後も、小規模校の強みである一人ひとりの個に応じた指導、各学年の特性と課題に応じた指導の改善に取り組んでまいります。

また、基本的な生活習慣と学力は相関関係があることがわかっています。各ご家庭におかれましても、お子様の学力向上に向けての環境づくりと基本的な生活習慣のより一層の確立にご配慮いただきますようお願いいたします。